

10月5日 朝会でのお話

皆さんおはようございます。

今日は言葉についてのお話をします。

「言葉を紡ぐ」という言葉があります。

とても素敵な言葉だと思います。



なぜならこの言葉は、「糸を紡ぐ」ように、一言一言大切に、細やかな心遣いをもって言葉を発する、という意味をもっているからです。

糸を紡ぐとは、今皆さんが見ている絵のような様子を言います

綿や繭(まゆ)を錘(つむ)にかけて繊維を引き出し、撚(より)をかけて糸にしています。

「言葉を紡ぐ」とは、単に言葉を発する、という意味ではなく、感情を込めて話す様子を表す時に使うものです。

絹や綿などの美しく整った糸を紡ぐように、幾千ものさまざまな言葉を繋ぎ合わせて文章を作り出すときに使います。

ここ日本では、大半の人が日本語を話します。

でも、その使い方は人それぞれです。

言葉は、その人その人が選び取って使っているからです。

それぞれが育った環境によって、方言や言い回し、使う単語も違ってきます。

何を読み、誰と話し、何を見ているかによっても。

そのようにいろいろな形で触れてきた言葉たちを溜めて重ねて

自分の中に表現の幅がたくさんたくさん広がっていきます。

ですから言葉の使い方はその人そのものを表していると思います。

人と自分とを繋いでくれる「言葉」。

言葉は「使いよう」です。

言葉はいとも簡単に口から飛び出します。

またいとも簡単に文字にかえられます。

その簡単に飛び出したり、文字にかえた言葉で、時に簡単に人は人を傷つ

けたりします。

隣の県では、皆さんと同じくらいの年の未来ある子が、言葉に傷つけられ、

大切な命を落としてしまいました。とても悲しい出来事です。

校長先生は皆さんに、常に相手を思い、言葉を選び、自分の想いを丁寧に

届けられる人であってほしいと願っています。